

広報・教育部門

社会と現場の最先端を盛り込んだ社会人による水循環と水インフラに関する大学講義

中央大学人間総合理工学科 & Water-n 協働講義プロジェクトチーム

受賞事例の概要

水インフラ（上下水道等）サービスを持続していくには、衛生工学など技術系に加え、マネジメントに必要な経営・DX・BCPなど幅広い知識・人材が求められます。

そこで中央大学の山村寛教授と一般社団法人 Water-n のサポート企業との協働講義を 2018 年から毎年上期に実施しています。「技術から経営まで網羅的なテーマ設定」「SDG s や ESG、温暖化など社会の最新動向に言及する」「DX の社会実装など現場の最前線も伝える」ことを基本方針とし、毎年 14 ～ 15 回、約 60 名の社会人講師が講義を行っています。また、2022 年は下水道展学習をレポート課題とし、講師企業以外の業界各社と学生との接点を創出しました。2024 年度も実施しています。

上下水道インフラが整備された中で育ってきた近年の学生は「普段から当たり前のように利用している上下水道施設に老朽化等の深刻な問題があることを知らなかった」と答える学生が多い。本協働講義を通し、持続可能な水インフラを担う人材育成と入職希望者の増加の好循環を目指しています。



講義の様子



下水道に流してはいけないものを知る「ティッシュは水に溶けるか」実験



下水道展や水道展で学び、業界研究する学生（写真は下水道展 2022）

PRポイント!・取組の効果!

- ・技術から経営まで、さらには SDG s など最新の社会情勢、最新技術の社会実装の現場まで網羅した教科・教科書がないという大学が抱える課題を、20 社以上もの企業との協働講義とすることで乗り越え、同時に学生に上下水道という仕事の魅力を伝え、入職希望者の増加も目指すという、大学、学生、業界にとってウインウインウインの取り組みです。
- ・2018 年から継続し、2024 年度で 7 年目を迎えた息の長い取り組みです。
- ・毎年約 140 名の学部 3 ・ 4 年生が受講し 7 年間で合計 934 名の学生に上下水道の魅力を伝えられました。
- ・そのうち 80 名以上が参加企業に就職しました。

🔑 Key Person



講師陣（一部。下水道展 2024 にて）

▶現場で活躍する実務者に講義していただくことで、水業界で働く未来の自分をイメージするきっかけになっている。講義していただいた企業に就職した学生は合計 80 名以上となり、知識だけでなく、キャリアデザインを考える上でも有益である。（中央大学 山村寛教授。前列左から 3 人目）

▶多くの企業の協働なしには実現できないカリキュラムです→石垣、極東技工コンサルタント、東京設計事務所、東京大学、東亜グラウト工業、月島 JFE アクアソリューション、明電舎、日水コン、日本環境整備教育センター、日本水工設計、浄化槽システム協会、新明和工業、メタウォーター、フソウ、ダイキアクシス、ウォーターエージェンシー、ヴェオリア・ジェネツ、NJS